

Systemsoft

株式会社 システムソフト

証券コード:7527



第42期 株主通信

2022年10月1日 ▶ 2023年9月30日

CONTENTS

株主の皆様へ／トップインタビュー	1P
トピックス 1	4P
事業別の概況	5P
連結財務データ	7P
トピックス 2	9P
会社概要 株式情報	10P
株主メモ	11P





株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は2023年9月30日をもって、第42期を終了いたしましたので、事業の概況等をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、引き続きのご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

2023年12月

代表取締役社長 吉尾 春樹

Technology×Open

Q

当期(2023年9月期)の決算について教えてください。

A

AI、IoT、RPA等新分野の進展により、DXの動きが加速度的に広がり、今後もこの傾向は続くものと見込まれています。特に、進展が著しい生成AIをビジネスに活用した動きが広がるものと考えられています。これからのアフターコロナの社会では、デジタル化の重要性はより高まり、引き続き底堅いIT投資が期待されます。

一方、慢性的な人材不足による現場技術者および現場作業者の確保と育成が大きな課題であり、費用の高騰等厳しい市場環境が続いております。

このような環境の下、積極的な人材の採用および良質なエンジニアの育成に注力し、SaaS商品の提供と、システム開発分野全般のサービス価値向上に取り組んでおります。

また、DX領域、RPAソリューション、オープンイノベーションの提供、アライアンスサービスや FA(ファイナン

経営理念

当社は、優れたIT技術により、お客様の問題解決に真摯に取組み、お客様、そして社会に必要とされる会社として貢献いたします。

IT技術により効率的に情報を収集、整理、発信し、社会を構成するひとりひとりが情報を十分に活用していくことができる環境を実現したいと願っております。

当社の従業員は、常に新しいことに積極的に取組み、お客様、自己、会社(株主様)、社会への大きな責任を常に自覚し、優れた企業人として振舞う人でありたいと願っております。

Innovationで新たな価値創造を

シャル・アドバイザー)などのコンサルティングを加え、新たな価値創造を目指し、企業価値の向上を目指します。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は前連結会計年度に比して13億1,300万円(27.9%)減少し33億9,000万円、営業利益は前連結会計年度に比して2億2,700万円(59.5%)減少し1億5,500万円となりました。

また、経常利益は前連結会計年度に比して2億4,100万円(64.1%)減少し1億3,500万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前連結会計年度に比して1億700万円(53.4%)減少し9,300万円となりました。

Q 来期(2024年9月期)の見通しについてはいかがですか。

A 当社グループでは、「ITテクノロジーとイノベーションで社会のDXを推進」することを目指して、テクノロジーとオープンイノベーションの融合による新たな価値を創造する企業となるべく取り組んでおります。

テクノロジー事業については堅調なIT技術者需要の継続が見込まれるものの、今期においてシステム開発事業の一部をコンサルティングに変更したことから、開発規模は縮小しております。

SaaS事業のSSクラウドシリーズについては、利用者数は順調に増加しておりますが、有償化時期・範囲については、慎重に見込んでおります。

これらの状況を踏まえ、次期の業績予想は、売上高30億円、営業利益1億3,000万円、経常利益1億1,000万円、

(注) P4の決算数字については、概算にて記載しております。

親会社株主に帰属する当期純利益6,500万円を見込んでおります。

Q 今後の事業への取組みについてお聞かせください。

A 前期においては、継続案件は堅調に推移しましたが、人材不足により増員が計画を下回り、またシステム開発において大型案件の遅延が発生したことにより、売上は減少しました。

そのため、来期では中長期的な成長に向けて強化期間として社内整備、強化を進めてまいります。

ひとつめは業務体制の強化を図り、具体的には、システム開発においては、強みとしていた開発分野における案件を拡大すること、ならびに契約形態の柔軟化による契約確度の向上、また業務効率化、コストコントロールによる利益率の向上を目指しております。

不動産業者向けSaaSについても、引き続きシェア拡大に向けて積極的な営業活動を推進してまいります。

つぎに、人材投資の強化です。

システム開発の需要に応えることのできる人材確保を推進するべく、現在、採用サイトのリニューアル、採用窓口の拡大等を行いました。

また、今後は採用人材のリスキリングを含む育成制度を拡充、育成速度の向上を図ります。

これらにより、事業拡大・企業価値向上を目指してまいります。

Q

株主の皆様へメッセージを
お願いいたします。

A

まず、株主の皆様に対する利益配分につきましては、株主重視の基本政策に基づき、将来にわたる安定配当の維持と企業体質の強化ならびに今後の事業展開に必要な内部留保の確保等を念頭に、利益水準、財政状態および配当性向等を総合的に考慮した上で実施していく方針であります。

当事業年度の期末配当金につきましては、当社を取り巻く環境が依然として厳しいことから、配当は無配とさせていただきます。

つぎに、当社グループは、テクノロジー×オープンイノベーションの事業を通じて新たな価値の提供を目指しております。

そのうえで、当社グループの事業では、人材がお客様へ

提供する価値の多くを生み出しており、その人材の集積である企業体の継続した発展のためには、優秀な人材の採用と育成が不可欠です。

社員を取り巻く環境・働き方を見直し、広報活動による採用活動の強化に伴い、目標達成のために主体的かつ積極的に行動できる人材を確保します。また、育成においても、社員のエンゲージメントと生産性の向上のため、社員が能力を発揮できるような成長の機会を設けてまいります。

また、急速なスピードで変化する経営環境に柔軟に対応し、事業活動を通じて社会課題の解決と価値の創造に取り組み、安定的な収益性を確保・維持できる体制整備を進めてまいります。

株主の皆様にはこれまで以上のご理解とご支援を賜りますよう、今後とも宜しくお願い申し上げます。

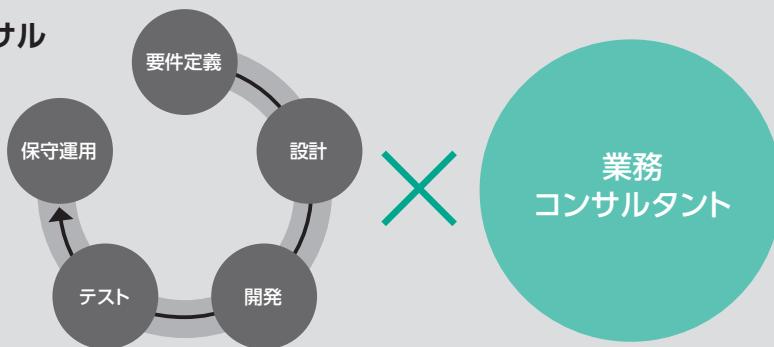


システム開発の事業について

開発から保守・運営まで一気通貫のサービスを
幅広い業種のユーザーニーズに合わせて提供

ワンストップサービス × コンサル

一般的なシステム開発の工程に、
長年の経験やノウハウ、ナレッジ等
からなるコンサルティングの強みを
乗ずることで、より顧客満足度の高い
開発が可能



導入企業一例



銀行

規定集管理システム

行内で利用される大量の規定やマニュアルを電子化。業務効率向上とコスト削減に貢献。



損害保険

基幹業務システム

ホストシステムを中心とした基幹業務システム。安定性と正確さが求められる高度なシステムの構築。



小売・販売

ECサイト構築システム

プロジェクトや商品追加、在庫管理、アクセス解析による効果測定まで可能なパッケージ。



メーカー

営業支援システム

営業活動や成績を管理し、より効果的な営業・経営戦略の策定に活用可能なシステム。



学校法人

学事支援システム

学校のホームページをはじめ、単位取得状況や休校・補講情報のお知らせなどが可能なポータルシステム。



総合サービス

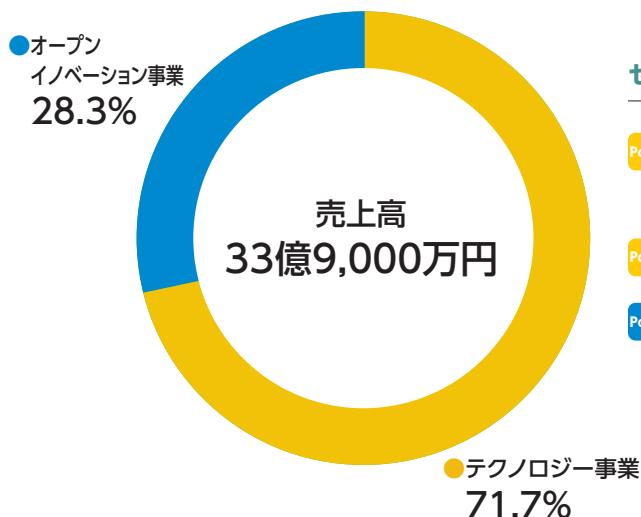
売上処理システム

膨大な売上情報を瞬時に処理できるシステム。将来的にはより発展的な活用が期待できる。



事業別の概況

契約形態の変更や人材不足等により、減収減益にて着地



セグメントポイント

- Point 継続案件は堅調に推移するも、人材不足により、増員計画は未達成。
- Point 大型案件の遅延が発生。
- Point コンサルティング案件が一部翌期以降にずれこみ減少。

(注) P5・6の決算数字については、概算にて記載しております。

テクノロジー事業

● 売上高

24億2,900万円

(前期比 27.5%減)

● セグメント利益

2億3,800万円

(前期比 29.1%減)

Web技術をベースとするシステム開発に強みを持ち、不動産分野、情報通信分野、生損保分野、教育分野等のお客様に対して長年にわたってシステム開発およびソリューションサービスの提供を行っております。また、賃貸不動産情報サイトの運営に加え、RPAソリューションサービス、SSクラウドシリーズを含めたSaaSの提供にも注力しております。

当連結会計年度におきましては、継続案件は堅調に推移しましたが、人材不足により増員が計画を下回り、またシステム開発において大型案件の遅延が発生しました。

これらにより、テクノロジー事業の売上高は前連結会計年度に比して9億1,900万円減少し24億2,900万円、セグメント利益は前連結会計年度に比して9,800万円減少し2億3,800万円となりました。

オープンイノベーション事業

● 売上高

9億6,100万円

(前期比 30.5%減)

● セグメント利益

5,000万円

(前期比 75.8%減)

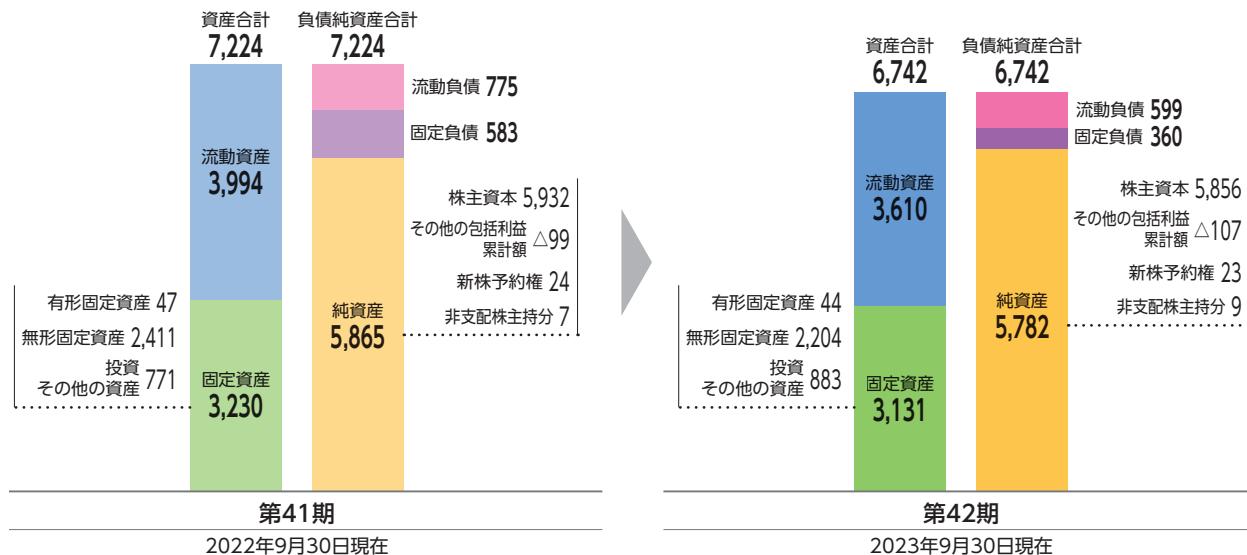
異業種・異分野が持つ技術やアイデア等を取り入れ、スタートアップ企業への事業立ち上げ等のコンサルティング、イノベーションの場の提供を行っております。

当連結会計年度におきましては、コンサルティング案件の一部が翌期以降にずれこんだこともあり、売上高、セグメント利益ともに減少しました。

これらにより、オープンイノベーション事業の売上高は前連結会計年度に比して4億2,200万円減少し9億6,100万円、セグメント利益は前連結会計年度に比し1億5,900万円減少し5,000万円となりました。

連結財務データ

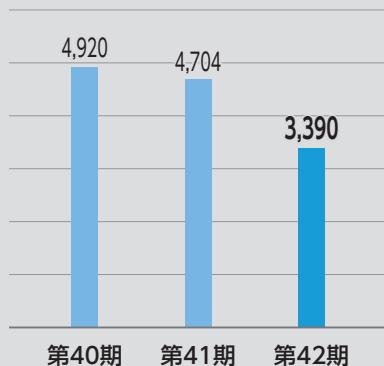
資産の状況 (単位:百万円)



財務ハイライト

売上高

(単位:百万円)



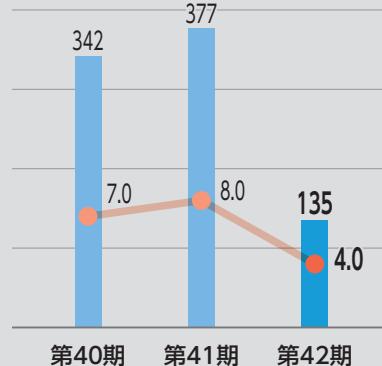
営業利益

(単位:百万円)

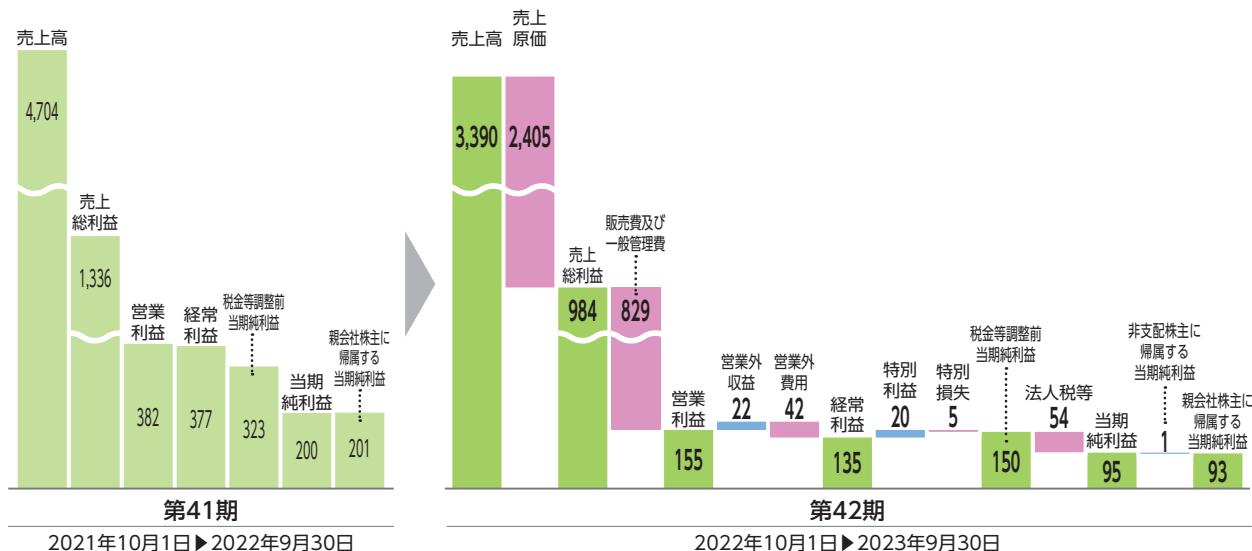


経常利益/経常利益率

(単位:百万円/%)

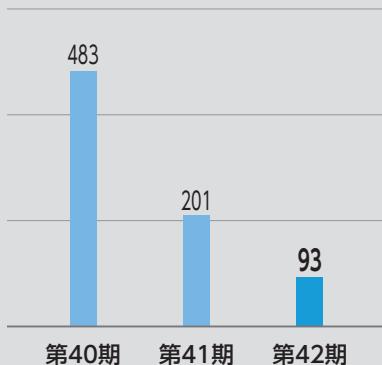


損益の状況 (単位:百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

(単位:百万円)



総資産

(単位:百万円)



純資産

(単位:百万円)



重要施策「人材投資」

当社グループの事業では、お客様の需要に応える人材確保と育成を推進しております。

独立系SIerとして創業40年以上の間、技術を通して地域に貢献してきた当社のこれまでの経験を活かし、さらなる発展のために人材確保を進めてまいります。

人材投資

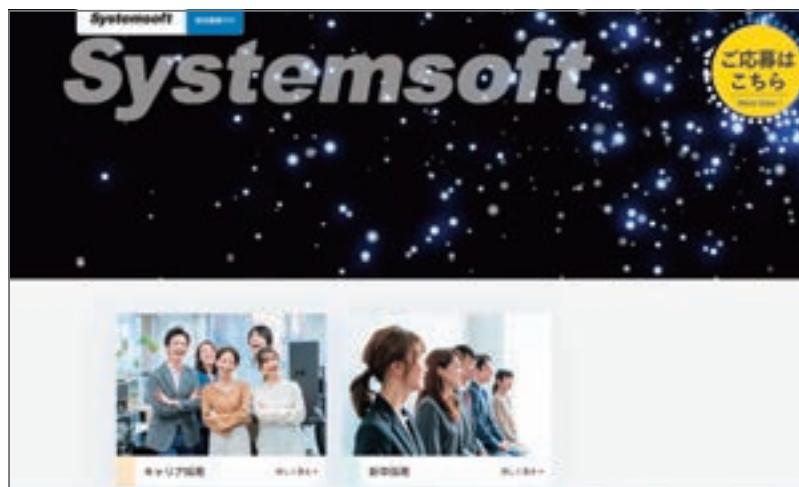
- 堅調なシステム開発需要に応える**人材確保**を推進
✓ 採用サイトリニューアル、採用窓口の拡大等実施済み
- 採用人材のリスクリングを含む**育成**制度を拡充、育成速度の向上

「Next Step!」をコンセプトに、会社のあらたな担い手になる人材、会社の発展とあわせてともに成長できる人材の確保を目指しております。

2023年10月に、当社のコーポレートサイトにおける採用ページのリニューアルを行いました。当社の社員や社内の様子が見えるようなコンテンツを充実させております。

また、採用におきましては、求人広告やナビの活用、採用イベントの積極的な活用により、応募者および入社者を増やしてまいります。

当社グループでは、社員への還元や教育制度の整備拡充により成長環境を構築していくことで、社員ひとりひとりがワークライフバランスも大切に長く続けられることを目指します。



会社概要

CORPORATE INFORMATION

会社の概要

(2023年9月30日現在)

商号	株式会社システムソフト
設立	1979年9月
代表者の氏名	吉尾 春樹
決算期	9月30日
従業員数	125名 (連結・2023年9月30日現在)
主要な事業所	東京本社 (東京都千代田区) 福岡本社 (福岡市中央区)

役員

(2023年12月20日現在)

代表取締役社長	吉尾 春樹
代表取締役副社長	結城 耕造
取締役	石川 雅浩
取締役	大村 浩次
取締役(社外)	高橋 裕次郎
取締役(社外)	浅子 正明
常勤監査役(社外)	平山 美智子
監査役(社外)	島田 敏雄
監査役(社外)	高橋 英朗

株式情報

(2023年9月30日現在)

STOCK INFORMATION

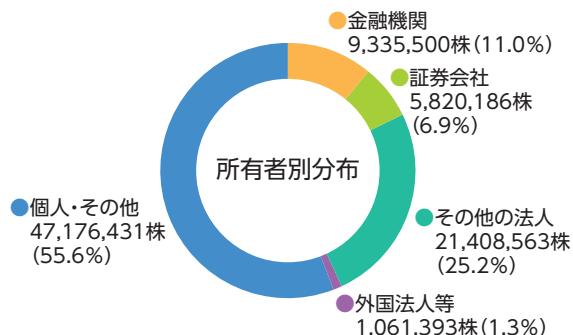
株式の状況

発行可能株式総数	140,000,000株
発行済株式総数	84,834,140株
株主数	11,833名

大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
Apaman Network 株式会社	11,854,700	13.97
APAMAN株式会社	8,692,320	10.25
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,605,700	8.96
丸山三千夫	2,467,000	2.90
楽天証券株式会社	1,957,200	2.30
株式会社SBI証券	1,675,034	1.97
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,204,300	1.42
丸山光子	1,065,000	1.25
藤井英樹	900,000	1.06
石川雅浩	835,800	0.98

株式分布状況



(注) 持株比率は自己株式(32,067株)を控除し、小数点第2位未満を切り捨てて表示しております。

事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	毎年12月開催
基準日	定時株主総会 毎年9月30日 期末配当金 毎年9月30日 中間配当金 毎年3月31日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 【郵便物送付先】 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 【電話照会先】 ☎ 0120-782-031 受付時間 9:00~17:00(土日休日を除く) 【インターネットホームページURL】 https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/ 【FAQサイトURL】 https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal
公告の方法	当社のホームページに掲載いたします。 https://www.systemsoft.co.jp/ir/index.shtml やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場（証券コード7527）
単元株式数	100株

株式に関する住所変更等のお手続きについての照会

証券会社に口座を開設されている株主様は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、左記の電話照会先にご連絡ください。

未払配当金の支払について

お受け取りがお済みでない配当金等に関するお手続きにつきましては、左記の電話照会先にご連絡ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。

ウェブサイトのご案内

当社ウェブサイトのIR情報のページに決算情報など最新の情報を配信しております。ぜひご利用ください。

<https://www.systemsoft.co.jp/>

システムソフト

🔍 検索

Systemsoft

株式会社 システムソフト

東京本社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目8番1号

福岡本社

〒810-8665 福岡市中央区天神一丁目12番1号
電話 092-732-1515(代表)